

笑顔輝くまちづくり

見たか よし。
聞いたか よし。
話したか よし。

発行：いそべ孝義後援会
事務所：下松市東豊井 794
(日立労組笠戸支部内)
電話：0833-43-3700



いそべ孝義 後援会だより

下松市議会報告

6月議会報告

「暮らしの安全・安心対策の充実・強化」 「産官民による魅力あるまちづくりの推進」

国井市長2期目の市政運営の柱

5月臨時会が、5月11日、28日に、6月定期例会が、6月10日、24日の会期で開催されました。議案内容や一般質問・答弁などを報告します。

活動報告

「一人一人が

意識を変える」

Withコロナの生活」

日頃のご支援に感謝申し上げます。

4月の市長選・市長就任以降、新型コロナウイルス感染症対策の臨時会開催など、新型コロナウイルス対応が優先される中で、の市政運営となっております。

5月の臨時会では、国の施策への対応事業や国の地方創生臨時交付金※などを活用した市独自事業が予算化され進められています。
(4ページ参)

今回の一般質問では、「国井市長の2期目の市政運営」2期目の国井市長が1期目の成果・課題をどう活かして、また、Jクチュンや治療薬普及までは、継続的な感染予防の取組みが必要な新型コロナウイルスとの共存、収束後においても(ニューノーマル)新たな常識や状態での生活および社会となる中で、市政運営をどう進められるのかという視点で質問をしました。

6月の補正予算では、昨年度実施された「市長と地域の井戸端会議」※での防災、野犬対策、有害鳥獣対策、空き家対策といった意見を反映した事業予算が計上(2ページ参照)されています。



「新型コロナウイルス禍で命を守る行動」さらに、今年は今まで経験したことのない、新型コロナウイルス感染症予防「身体的距離の確保」「マスクの着用」「3密(密集・密接・密閉)を避ける」などの「新しい生活様式」が求められる中で、大雨や台風が心配な季節、暑い夏を迎えることになりました。私たち市民が「自らの命は自ら守る」ために、どう意識を変え行動すればよいのか、その判断材料となる市の取組み、考えを確認する視点で質問しました。

▲議場の換気やマスク着用など感染症対策下での議会

※新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金：感染症への対応として自治体が必要な事業に充てることができる国からの交付金。第1次補正予算割当額：下松市 約1億3千4百万円

※市長と地域の井戸端会議：参加住民同士や市長がグループで話し合い、地域の課題や魅力を共有し、地域力の向上を図ることを目的に開催(平成30年10月11日されたもの。(市内12か所))

6月補正予算の主な内容

防災ラジオの整備

補正額：1,037 万円

- ・無償貸与：民生児童委員、避難行動要支援者等
- ・有償譲渡：個人や事業所等

洪水ハザードマップ全戸配布

補正額：850 万円

- ・市内 3 河川の想定最大規模降雨による浸水区域更新など

野犬対策 大型捕獲檻購入

補正額：74 万円

- ・1 基 いたずら防止カメラ付き

下松光間道路 検討のための旅費

補正額：10 万円

危険空家等除去補助

補正額：500 万円

- ・上限 50 万円(10 棟見込み)

子ども医療費助成制度拡充

補正額：100 万円

- ・中学生の入院分[所得制限なし]

インフルエンザ予防接種費用補助

補正額：125 万円

- ・対象者：中学 3 年生

国井市長所信表明(要旨)

今後4年間の市政運営についての所信表明。

まずは、新型コロナウイルス感染症対策に全力を挙げて取り組む。

市のまちづくりの基本方針である、現在策定中の「下松市総合計画・前期基本計画」や、昨年度末改訂した「下松市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を市政運営の方針として、今後の政策や施策へ反映していく。

市政運営の柱2点。

1点目は、「暮らしの安全・安心対策の充実・強化」。災害逃げ遅れゼロを目指し、ソフト・ハード両面から体制・対策の強化に努める

2点目は、「産官民による魅力あるまちづくりの推進」。産官民協働による事業展開に大きな可能性を感じている。

新型コロナウイルスによる今後の税収等への影響、財源不足には、事業の組替え等による財源確保・調整を行う。選択と集中の視点で行財政改革に取り組む。

「市民力」「地域力」「産業力」による官民協働の取組みでこの難局を乗り切りたい。

「都市と自然のバランスのとれた住みよさ日本一の星ふるまち」の実現に、全身全霊、身を粉にして市政に取り組む。

一般質問報告

「新たな一歩」
国井市長2期目の
市政運営、事業展開

Q. With コロナの常態(ニューノーマル)を前提とした市政運営となる中、市の感染症対策事業のポイント、今後のフェーズ「第2波の恐れ」の段階、収束が見えてきた段階、中長期的な対策検討の段階などに沿った展開の考えを問う。

A. 「感染拡大防止」「市民生活の安定」「事業継続・経済の安定」を重点ポイントとし、予算計上や予備費を活用した事業展開、早期執行に努めている。

《新型コロナ感染症対策》 スピード感を持って、 効果的な対策を講じる

今後フェーズ毎に適切かつ的確な対応を図る必要があり、全庁的な取組みで優先順位を見極め、予算組み替え、国の交付金制度の有効活用などスピード感を持って効果的な対策を講じていく。

Q. 働き方の新しいスタイルが社会的に求められる中で、今後の行政の働き方への考え方や課題を問う。

A. 今回在宅勤務など試行をしたが、市民生活に直結する業務の難しさ、セキュリティ対策など多くの課題が明らかになった。新しい社会情勢に対応した働き方を様々な角度から検討していく。

Q. 昨年実施された「市長と地域の井戸端会議」における意見の市政への反映方法や、継続的な実施の考えを問う。

A. 対話を通じた地域づくりに関する提案により、地域が抱える課題を共有できた。野犬対策、有害鳥獣対策などを6月の補正予算に計上した。引き続き課題解決に向け関係諸団体と情報共有していく。

市民のみなさんとの対話は市政運営にとって大きな意義があり、地域力向上にもつながる。時期・形式など今後のあり方を検討する。

Q. 昨年市政施行80周年を記念して実施された小学生によるプレゼンテーション「10年後の下松を夢見て」では、それぞれの地域課題・特徴を捉え、発想ゆたかな提言がされていた。子どもたちの声を市政に反映、参考にすることも大事である。成果と課題、提言の展開の考え方を問う。

A. 発表内容は市部局に情報提供した。郷土の誇りと愛着心を育てるといった目的を達成できたこと認識している。

井戸端会議での暮らしに密着した課題、小学生プレゼンテーションでの未来に続く意見をしっかりと把握し、施策に展開するため、今年度策定の「下松市総合計画(※)」などにも反映していきたい。

※下松市総合計画：基本構想と基本計画からなる10年間のまちづくりの総合指針

前期基本計画「H23～27年度

後期基本計画「H28～R2年度

次期計画「R3年度」策定中。



▲下松市総合計画

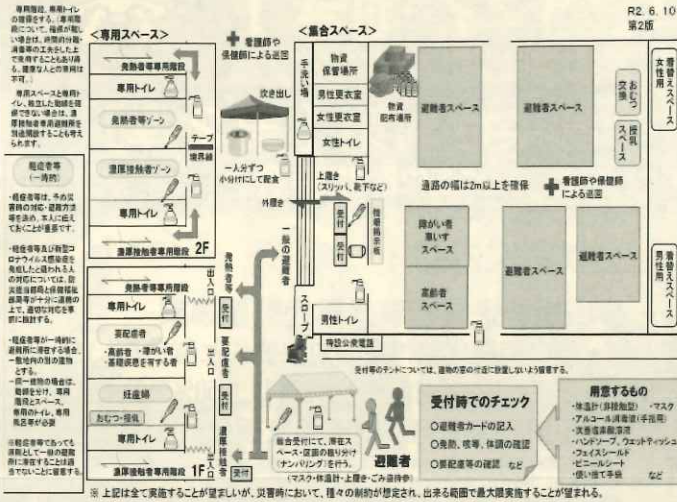
「意識を変える」
 新型コロナウイルス感染症
 対策下での命を守る行動

Q. 今年に入り各所で地震発生、近年は台風も大型化、雨も短時間で一気に状況が変化することが多い。感染症対策の中でも自然災害の発生は止めれない。感染症対応を考慮した地域防災計画、避難所マニュアルや防災体制の見直し状況を問う。

て、可能な限り多くの避難所の開設、避難者の健康状態の確認、十分なスペースの確保と換気の実施、発熱など症状が出た方のための専用スペース準備、避難者が発症した場合の対応等が必要とされる。必要な備品や資機材確保、レイアウトや運営体制の見直しなど現状の市の取組みや考え方を問う。

また、市民への平時や刻々と変化する災害発生時の情報発信・周知の考え方を問う。

新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト (例) 内閣府



※避難所の追加：下松市勤労者総合福祉センター、下松市地域交流センターの2施設を追加。

《自然災害+新型コロナウイルス》 避難所における 感染症対策編作成

Q. 要配慮者専用の福祉避難所の感染症対策の状況、災害協定している福祉施設の利用など、高齢者や障がい者・乳幼児・妊婦の方々の避難への対応(安全な避難方法、避難場所、スペース確保など)の考え方を問う。

A. 今年度改定する地域防災計画に、避難所における感染症対策を位置付け、見直しを図る。

避難所の整備について新たに、「避難所における新型コロナウイルス感染症対策編」を作成した。必要な備品について間仕切りダンボールやパーティション等の購入を予定。2施設を新たに避難所として追加した。職員の研修や地域の方とのシミュレーションを進めたい。

災害時には広報車、防災行政無線、防災ラジオなど情報発信の多重化を図る。

Q. 水害対応タイムライン(災害に備え時系列的に行動を整理したもの)については、昨年度試行シミュレーション、今年度本格運用との計画であったが状況を問う。



A. 新型コロナウイルスの影響で協議の場が延期になっており本格運用に至っていない。今後ホームページに掲載し市民への周知を進め、マイタイムライン(各人の行動計画)についても今後研究したい。

Q. 今年の夏は新型コロナウイルス感染症対策の自粛生活で暑さに慣れていないこと、マスク着用の影響で熱中症のリスクが高いといわれる。状況に応じて適時マスクを外すことなど、「新しい生活様式」での熱中症予防行動のポイントを各自が取ること、周りが許容すること、高齢者・子どもなどへの声掛けが大事になる。

A. 国が示す熱中症予防行動、「換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整」「周囲との距離を十分とった上で適時マスクを外すこと」など、リーフレット配布や市広報、SNSなどを活用し、注意喚起に一層努める。

《熱中症+新型コロナウイルス》

適時マスクを外すこと



新型コロナウイルス

感染症対策に関する動き！



感染症対策 [第1弾]

<5/11 臨時会>

主な事業内容…

- (国) 特別定額給付金 [10 万円/人]
- (国) 子育て世帯臨時特別給付金 [児童手当受給者 1 万円/人]
- 事業者向けの業務継続支援
 - ・下松エール飯事業補助金
 - ・営業持続化支援事業補助金
- 事業者向けの相談窓口充実
 - ・社会保険労務士などによる相談



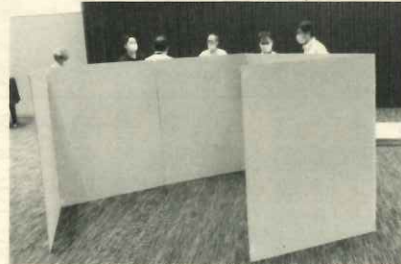
▲下松エール飯チラシ

感染症対策 [第2弾]

<5/28 臨時会>

主な事業内容…

- 小規模企業者事業継続支援事業
 - ・国の持続化給付金の対象要件とならない [売上高など前年同月比 20% 以上 50% 未満減少] 小規模事業者に対する支援金 [10 万円 (上限) / 事業者]
- 児童扶養手当受給世帯臨時特別給付金支給事業
 - ・ひとり親家庭の経済的支援として 子ども 1 人につき 1 万円支給
- 避難所感染症対策物品整備事業
 - ・非接触型体温計、間仕切りダンボールやパーテーションなど購入



▲間仕切りダンボール組立研修の様子

- 公共施設や学校の感染症対策
 - 消毒液や非接触型体温計など購入
- 小・中学校 ICT 環境整備事業
 - G I G A スクール構想 [1 人 1 台端末] 前倒しへの対応

議会から市長に

「新型コロナウイルス感染症対策」

に関する要望書提出【5/8】



市民の生命と健康、生活を守り、市内経済の持続を図るため、下記を要望。

- 相談体制の整備と積極的な情報提供
- 医療体制などの強化
- 学校休業への対応
- 市民への支援策
- 経済対策
- 財源の確保
- 議会との連携

(詳細は下松市ホームページ下松市議会 参照)

議員報酬、市長等の給与削減

新型コロナウイルス感染症の影響による市の経済状況などを踏まえたもの。

- 議員報酬の臨時特例に関する条例
 - 議員報酬月額 10% 減額 [20 人]
 - ・減額期間: 6 月 ~ 12 月 [7 か月]
 - ・減額の総額: 約 544 万円
- 市長等の給料の臨時特例に関する条例
 - ◆市長……給与月額 10% 減額
 - ◆副市長、教育長、上下水道局長…
給与月額 5% 減額
 - ・減額期間: 6 月 ~ 12 月 [7 か月]
 - ・減額の総額: 約 140 万円